

滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針（原案）について

1 策定の趣旨

- 世界では、プラスチックごみが河川等を通じて内陸から海へ流れ込み、生態系を含めた環境の悪化をもたらしており、大きな課題。
- 国は「プラスチック資源循環戦略」を策定するなど、プラスチックごみ削減の各種取組を進めている。
- プラスチックごみが及ぼす幅広い課題に対応するためには、まずは、プラスチックごみ削減に向けた機運の醸成を図り、県民や事業者等の各主体による、ごみを出さない（発生抑制の）実践取組を促進していくことが重要。
- 県は、令和元年8月に、事業者、県民団体、行政を構成員とする「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」との連名で、「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」を行ったところ。
- 宣言を踏まえ、3Rや適正処理による更なる徹底を図るため、日常生活や事業活動におけるプラスチックごみゼロに向けた取組内容の例示を示し、県民や事業者等による実践的な取組を促進するために策定。

2 プラスチックごみに関する本県の主な動向

- 平成25年2月 レジ袋の削減やマイバッグ等の利用促進のため「買い物ごみ減量推進フォーラムしが」構成員を中心に「レジ袋削減の取組に関する協定」を締結
- 平成25年4月 「レジ袋削減の取組に関する協定」に基づき、締結事業者の店舗において、レジ袋無料配布中止を県域で一斉に実施
- 平成29年8月 買い物ごみに加えて食品ロスの削減を推進するため、フォーラムしがを改組し、「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」を設立（構成員：事業者、県民団体、学識者、行政）
- 令和元年8月 協議会と県が連名で「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」を発出

3 今後のスケジュール（予定）

- 令和2年12月15日 指針（原案）を環境・農水常任委員会へ報告
- 令和2年12月下旬～令和3年1月下旬 県民政策コメント実施
- 令和3年3月中旬 指針（案）を環境・農水常任委員会へ報告
- 令和3年3月下旬 指針策定・公表

4 添付資料

- 滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針（原案）【本文】